

2026～2029年 PG・HG・MPG教員・助教員検定の手順

1 検定科目

教員・助教員の受検科目は同一で3種類、6項目です。

教員・助教員で合格基準が異なります。

① 学科検定問題（教員は集合検定 助教員は教員検定員/助教員検定員が検定）

①-1) J H F 学科検定問題 助教員、教員共通 76問

J H F 教本参照

80点以上で合格

①-2) 日本スポーツ協会指導者養成テキスト(Reference Book)

学科問題 60問

全問正解で合格（全問正解になるまでやり直す）

② フライト実技検定

②-1) グラウンドハンドリング実技

「上級タンデム採点表」のショートフライトに従って実施、採点

教本・実技DVD参照

②-2) フライト実技

N P ・ P 課程の練習生に見せる模範フライト実技

「上級タンデム採点表」のソロ高高度に従って実施、採点

教本・実技DVD参照

【合格基準】

- ・ 全科目の平均の小数第一位を四捨五入して、教員は4以上、助教員は3以上で合格
- ・ マイナス4の項目が2つ以上あれば不合格
- ・ ターゲット半径のみ上級タンデム採点表とは異なりHGは15m、PGは10mを超えたら不合格

③ 教習実技検定

③-1) 学科教習実技検定

学科のレクチャー実技、課題の講義 教本参照

「教習実技（学科）」に従って実施、採点

評価項目4つの平均の小数第一位を四捨五入して、教員は4以上、助

教員は3以上で合格

③-2) 誘導教習実技検定

B級レベル練習生のTOからLDまでの無線誘導

無線誘導の注意点 参照

「教員・助教員教習実技（誘導）」に従って実施、採点

全科目の平均の小数第一位を四捨五入して、教員は4以上、助教員は3以上で合格

2 受検に必要な資料は以下の3種類です。

- ① 教員・助教員のため資料（教員・スクール委員会のWebページからダウンロード）
 - ・教員・助教員に必要な知識
 - ・教員・助教員検定科目
- ② JHF 教本
- ③ JHF 実技DVD TO&LD編 フライト編（PGのみ）

助教員・教員検定の流れ

助教員の場合	教員の場合
受検希望者は所属する都道府県連盟に申し込む	受検希望者は所属する都道府県連盟の推薦を受け J H F に申し込む (受検料2万円)
都道府県連盟は助教員検定員または教員検定員を選任	J H F は受検者と調整を行い教員検定員を選任
都道府県連盟に助教員検定員または教員検定員が在籍しない場合、都道府県連盟は J H F に助教員検定員または教員検定員の派遣依頼を行うことができる	教員検定員は受検者と日程の調整を行う
都道府県連盟は助教員検定会開催を J H F に申請	↓
J H F は W E B に助教員検定会開催情報を掲載	↓
他の都道府県の受検者も受検可能 (ただし所属県連の承認が必要)	↓
受検者確定 J H F は受検資料、日本スポーツ協会 Reference Book (有料) を受検者に送付 (受検資料 D V D は更新講習会資料 D V D と同一)	
助教員検定員または教員検定員は助教員検定を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・実技検定 (グラハン&フライト) ・教習実技検定 (無線誘導実技&学科教習実技) ・学科検定 I J H F 学科検定問題 II 日本スポーツ協会Reference Book問題 (60問)	検定員は実技検定及び無線誘導実技を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・実技検定 (グラハン&フライト) ・教習実技検定 (無線誘導実技)
検定員は合否判定を行い J H F に報告	
↓	学科検定及び教習実技は合同で冬季に教員・スクール事業委員会が行う。 受検料2万円。実技合格前でも受検可。 <ul style="list-style-type: none"> ・教習実技検定 (学科の解説実技) ・学科検定 I J H F 学科検定問題 II 日本スポーツ協会Reference Book問題 (60問)

↓

教員・スクール事業委員会は合格者をJHF事務局に報告
教習実技検定の一部合格者は、補講を受講することで、随時再受検可（2年有効）

一部合格者には一部合格証を送付（2年有効。2年後の同じ月の月末まで）
一部合格者は不合格科目を2年以内に再受検する

JHFは合格者に助教員申請書を送付

JHFは合格者に教員申請書を送付

全科目合格者は所属する都道府県連盟の推薦を受けJHFに申請

JHFは合格者に助教員技能証を発行

JHFは合格者に教員技能証を発行

不合格者は不合格科目について再検定を受けることができる。

ただし、再検定料（JHF技能証規程別紙（申請料等一覧）による）は必要です。

合格まで指導を受ける場合は各スクールの規定に従ってください。

以上